

病態制御科学専攻 臨床応用薬学講座 製剤設計評価学分野

Department of Pharmaceutical Formulation Design

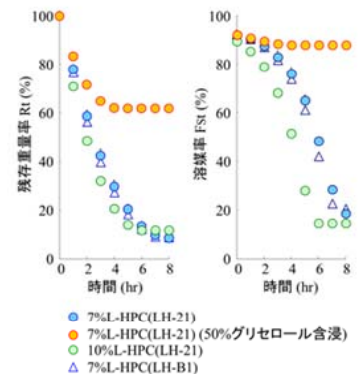
目指すのは、
医療ニーズを反映した機能性製剤を創製し、
適正使用を支援するための
製剤・薬物動態研究です。



「薬物治療の最適化」には:

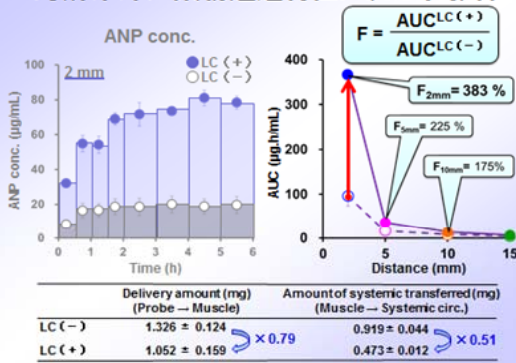
ハード面では高い製剤機能を有する
機能性製剤(DDS医薬品, Drug Delivery
System)の創製、およびその製剤機能保証
(体内における薬物の時間的・空間的な
制御機能の検証・保証)が、

ソフト面では治療効果と安全性を保証
するための製剤設計とそれを活かす科学的
な投与設計が、それぞれ必要です。



L-HPC含水ゲルシートの水分保持特性
広範な創傷面の湿潤保持療法への
L-HPC含水ゲルシートの応用を期待

局所冷却が薬物送達特性に及ぼす影響



局所冷却による局所利用率の改善と
薬物送達部位からの距離の関係
左図は局所送達部位から2mmの部位に
おけるアンピリンの濃度推移の例を示す

私たちは、

- ・物理薬剤学(製剤学),
- ・生物薬剤学(薬物動態学), および
- ・薬物速度論(ファーマコキネティクス)

を科学基盤として、下記の研究テーマに
取り組んでいます。

1. 薬物の局所動態評価と制御
2. 局所利用率によるDDS医薬品評価
3. 新規製剤の創製と機能評価

関連学会

- ・日本薬学会
- ・日本薬物動態学会
- ・日本DDS学会
- ・日本医療薬学会
- ・日本薬学会

連絡先/岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻
製剤設計評価学分野 (黒崎勇二)

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学薬学部
tel. 086-251-7978 fax.086-251-7928(岡山大学薬学部)

E-mail: kurosaki@pharm.okayama-u.ac.jp

URL:<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/department/post-31.html>